



京都 きょうだいでより

第160号 2011. 11. 12 定価 50円
発行 京都「障害者」を持つ兄弟姉妹の会
上本善有（代表）

事務局 京都市伏見区石田大山町5-2-67 梅田嘉一方 TEL&FAX 075-571-1973



でてこいランド

一泊交流会

「ケアするきょうだいが男性か女性か、きょうだい関係が異性か同性かで違うことは？」をテーマに考えてみました

9月17日（土）～18日（日）

でてこいランドとは京都府の真ん中、丹波にある宿泊施設のことです。JR京都駅から山陰線で綾部方面に向かい、下山駅で下車して10分の所にありますが、ここで毎年全国規模のきょうだいの交流会を開いています。今年も関西地域の他、埼玉・東京・神奈川・富山・石川・福井・広島・高知から21人の参加者があり、うち4人の方が初参加でした。

貸しきりの泊り込み施設で、当事者やきょうだいの立場に理解のある方ばかりなので、あまり前置きが要らず、普段胸の奥にしまっていた思いが思わず口をついて出たり、共感できる話、ヒントをもらえる話に出会うこともしばしばです。

初日は各自持ち寄った夕食を済ませた後、まずは自己紹介から始まります。それぞれ使い慣れないマイクを片手に、きょうだいのこと、仕事のこと、近況や日々の思いが披露されました。自己紹介の後には小さな歓談の輪がホールにあちこちに出来、遅くまで議論の花が咲いていました。身構えず語り合えるこの時間がいいものですね。窓越しに外を見ると秋の気配。降っていた雨もあがり、虫の音が聞こえ、星や月が部屋の中からも眺められました。

2日目の午前中は、全体でテーマを決めての意見交換です。今年も進行は、若手きょうだいにお任せしました。今回のテーマは「きょうだい

いのケア役割について①ケアする側のきょうだいが男性か女性か②きょうだい間の関係が同性か異性かで違いが見られるのだろうか」と設定。この視点からきょうだいの立場について掘り下げて行くことにしました。

デリケートな問題に触れるだけに意見が出て来るのか、司会者もドキドキしたそうですが、思いのほか、参加者から生の体験が次々に飛び出し、親との関係も含めた話、男女差に関わらない介護体験に広がり、深い意見交換となりました。

意見交換は、このテーマに限定されず、「インスタントラーメンを何食も食べたがる弟はどうコントロールするのが適当なのか」という話題が提供されたことをきっかけに、きょうだいのケアのありかたについて話が盛り上がり、行きました。缶コーヒーや飲酒、金銭管理、親への依存など、数々の本人のこだわりにどうつき合っていくのか等々、次々に話題が出て来ました。きょうだいの集まりらしい討論になったと思います。

こんなテーマで話したいという問題提議がありましたら、どしどし教えていただきたいと思えます。来年も是非、でてこいランドでお会いしましょう。

例会は、奇数月の第二土曜に喫茶みどり（京阪深草駅西口すぐ）の奥の会議室でやっています。会場が変更することもありますので、はじめて来られる方や久しぶりの方は事務局まで連絡下さい。

事務局(梅田方)に電話とFAXがあります。連絡や通信に利用して下さい。
たよりの原稿は 宇治市羽戸山3丁目1-76 (TEL&FAXとも0774-31-4337) 糸井まで

参加されたみなさんの声から・・・

・久しぶりに新しい仲間にもお目にかかれた。同性介護か異性介護か、また家族の人間関係や役割など興味深かった。

・京都のみなさんはもちろんのこと、以前高松のシンポジウムや名古屋の総会でお会いした方に再開出来て楽しい時間が過ごせました。2日目のディスカッションでは、自分の発言も一人ひとりの発言も大切にされていてよかったです。若い20代の方も多く参加されており、きょうだい仲間が増えたり、広がっていくように感じました。会う回数を重ねるたびに、お互いの理解が深まっていくようでうれしいです。

・今年も参加出来て本当によかったです。やっぱり「でてこい」の空気、雰囲気はいいですね。関西弁のやわらかいイントネーション。何でも受け止めてくれる大きな家族のような安心感。心が新鮮な風を受けて、生き返ったようでした。2日目に話し合ったことも、ふだん考えたこともなかったことなので、刺激になりました。介護と家族、きょうだいの現状から見えてくることは、もっともって沢山あるのでしょうか。

・私の兄はケアという点では、一人で色々なことが出来るのでピンとこなかったのですが、小川さんや安井さんの話などを聞いて、身内ゆえの色々な葛藤が生まれてくるのだなと考えさせられました。

・でてこいランドでの一泊交流会、お疲れさまです。私は一昨年、昨年に続き、3回目の参加でした。皆さんからの差し入れが多く満足しています。自己紹介の進行、あとのフリートーク、2日目のディスカッションとも大変良かったと思います。

・昨年は他の用事が重なって、2日目の早朝に帰ってしまいましたが、今年はきっちりと一泊二日を過ごし、充実してました。来年、もし参加出来たら、また宜しく願います。

・昨年は、仕事の都合で来られなかったのが、2年ぶりの参加でした。京都の若手の方たちが中心になって(特に2日目は)運営されていて、頼もしい限りです。これからもスケジュールを調整して出来るだけ参加したいと思っています。

・初めての参加となりましたが、リラックスして沢山お酒も飲んで、楽しいお話が聞けて充実した2日間を過ごす事が出来ました。翌日のディスカッションも勉強になりました。首都圏の定例会では、まだやった事のないテーマだと思います。是非参考にさせていただきたいと思っています。噂通り、心温まる楽しい“でてこい”を経験させていただき、ありがとうございます。来年も仕事の都合がつけば、参加したいです。埼玉のきょうだいを誘って!!

○2日目のディスカッションの「ケア役割」について○

改めて“異性きょうだいのつらさ”を考えました。幼い時から“きょうだいだからしていたもの”が性を意識する頃になると、違和感を覚えるようになるということかなと思いました。

ケアを受けているきょうだい(障がい者)は、どのように受け止めているのだろうか、ということにも思いを巡らせてみましたが、障がいの種類や程度、社会性との関連がありそうだなというところで留まっています。

異性きょうだいでは、親御さんも気になさっていたことが何え、また、きょうだいのみなさんもそれを分かっておられるようでした。

どうしても、障がいがあるきょうだいの方に、親御さんの手や心が向いてしまうなかで、親御さんがきょうだいを想っていたところでもあるんだろうなあと思いました。

西田 曲子

事務局から

10月29日(土)、30日(日)に横浜で行われたきょうだいの会の全国交流会に参加して来ました。京阪神の参加は、大阪の溝上さん、森さん、京都の梅田でした。ハイライトとしては、30日午後のオープンな交流会にあの話題の映画「ちづる」の監督をはじめ上映委員会の方々3名もゲストで参加され、パネルディスカッションをはじめ、2部の懇親会までおられました。今回は9月にNHKEテレで放送された「ハートをつなごう」(きょうだい特集)の反響もあり、初参加の「きょうだい」の方がいままで以上に多かったのが印象的でした。いよいよ「障害者福祉」の中にも、「きょうだい」に風が吹いて来たかもしれないと思った2日間でした。

10月30日(日)午後交流会には46名参加しました!
☆今後の予定

① 11月通常例会 11月12日(土)午後6時より
京阪深草駅西口すぐ 喫茶みどり会議室
参加費は飲み物代のみ

② NEW! 11月13日(日)
2012年大阪全国総会実行委員会(第1回)
会場下見兼企画打ち合わせ
午後1時JR阪和線 鶴が丘駅集合
(詳しくは大阪の溝上さんまで)

*来年4月28日(土)29日(日)に全国総会が
大阪市長居ユースホテルで開催の予定です。

③ 関西地域他のきょうだいの会例会
◎神戸きょうだい会 偶数月の第2土曜 夜開催
次回 12月10日
◎大阪きょうだい会 奇数月の第3日曜 午後開催
次回 11月20日
◎姫路きょうだい会(12/23<祝>午後)
◎きょうだい連道場(11/23<祝>午後)
*問い合わせは鳥井田さん

速報! 京都きょうだい会恒例(ふぐ三昧)新年会
1月14日(土)に予定

その他詳細は下記事務局にお問い合わせ下さい。
事務局 梅田 携帯 090-1917-4770
自宅及びFAX 075-571-1973

会費は正会員・購読会員とも年間3,000円です。カンパはいくらでもありがたいです。会を支えて下さい。 京都銀行鞍馬口支店 口座番号 3797399 京都「障害者」を持つ兄弟姉妹の会まで。